

配信日：2020年01月27日

こんにちは、岩井ファルマテックのメールマガジン【Iwai Pharma Tech通信】です！
本年もIPT通信並びに、岩井ファルマテック株式会社をどうぞ宜しくお願い致します。
2020年第1弾のIPT通信では、お正月休みで体重が5kg増加した私の言い訳…ではなく！ 弊社の特化技術である膜分離技術について改めて紹介させていただきます。

● そのろ過、膜でどう？ 珪藻土ろ過代替の為の小スケール試験ユニット！



◆1: 珪藻土ろ過は大部分で膜分離に代替できます

工業的なレベルのろ過では「珪藻土」が一般的ですが、しかし珪藻土ろ過は原理上、収率の問題や、廃ケーキの発生などの技術的な課題が多く発生します。

古くからの方法故に導入しやすい技術ではありますが目的達成のための手段としては、課題によりお困りの方も多くいらっしゃいます。

解決するには、弊社の提案する「膜分離技術」です！

弊社はクロスフロー方式による膜分離技術を提案します。
膜(ろ材)に対して並行に液が流れる(クロスフロー)ため、固形物等の堆積による目詰まりを最小限に抑える事が出来ます。
これにより「高収率」で「廃ケーキ発生なし」の処理が可能で、珪藻土ろ過による技術的課題を大部分が改善できます。

◆2:試験ユニットについて

弊社では ラボテスト・スケールアップテスト・設計・製作・設備導入・保守・既存設備の改造も一気通貫で対応いたします。
その中でもラボテストやスケールアップテストによる膜の選定や運転条件の確立などは、設備導入への第一歩です。

当社では、その第一歩となる、試験ユニットをご用意しております。本試験ユニットは、ラボスケールの膜を用いた、MF/UF膜の小規模な評価試験が対応可能で、導入へ向けた各種検討が最小限の労力で行うことができます。使用する膜はセラミック膜をはじめ、有機材料から成る中空糸にも対応しております。

今回は、当社試験ユニットを紹介させていただきました。
当社では導入実績が多数有り、珪藻土ろ過の代替については当社にご相談ください。

[試験機の詳細はここをクリック](#)

冒頭に5kg増加した告白をした私ですが、お正月はのんびりと一日中食べてばかりでした。ところで、お餅は気軽に何個でも食べられる物ですが、2個でご飯1杯分カロリーだと知り衝撃を受けました。たった2個でご飯1杯分ですから、エネルギー効率がとても良い食品なのですね。
膜分離も処理に要するエネルギーと言ったらポンプ動力程度なので、ろ過技術の中でもかなりエネルギー効率が良い方法です。 そりゃあ朝からお餅5個も食べてたらね…… お正月明けから体が重い重い…….